

特別展

霞ヶ浦と太平洋のめぐみ

—塩づくり—



製塩土器(縄文時代・里浜貝塚)
重要文化財 東北歴史博物館



製塩土器(縄文時代・上高津貝塚)
上高津貝塚ふるさと歴史の広場



脚台付製塩土器(弥生時代・上東遺跡)
岡山県古代吉備文化財センター



知多式製塩土器(I~III類・古墳時代・松崎遺跡)
東海市立郷土資料館



陶器(古瀬戸卸目付大皿・村松白根遺跡)
東海村教育委員会



「親鸞聖人絵伝」(部分) たばこと塩の博物館



「塩焼きの図」(『文正草子』) たばこと塩の博物館



「前濱邑田方図」(部分) 個人

「塩」は、生物にとって欠くことのできないものの一つです。今から約3,200~3,300年前の縄文時代後期の終わりに、本格的な塩づくりが始められ、そのあとが霞ヶ浦沿岸の広畑貝塚(稲敷市)、法堂遺跡(美浦村)などで確認できます。これは、日本で最も古い塩づくりが確認できる地域と考えられています。

また、太平洋岸の砂丘地帯で見つかった沢田遺跡(ひたちなか市)・村松白根遺跡(東海村)の発掘成果は、中世から近世の塩づくりやそれを中心としたムラの様子を示してくれるとともに、大風でムラが埋まった「千々乱風伝説」との関わりを示してくれ、当時の厳しい生活の様子もうかがえます。

今回の展示では、県内の考古資料を中心に、東北・東海・瀬戸内海地方での塩づくりや塩の流通、塩に関わる神事等の資料を加えて展示します。いにしえに生きた人々の塩づくりの様子を知っていただくとともに、塩づくりに関わった人々の心にまで思いをはせていただこうとするものです。

講演会

演題:「茨城縄文に始まる日本の製塩」
日時:平成24年10月28日(日) 午後1時30分~3時30分
会場:茨城県立歴史館 講堂(要入館券)
講師:渡辺 誠 氏(名古屋大学名誉教授)
定員:200名(先着順)

ミニ講座

日時:平成24年11月4日(日) 午後1時30分
会場:茨城県立歴史館講堂及び展示室(要入館券)
担当:史料学芸部長 大津 忠男

展示解説

日時:平成24年10月14日(日)、11月4日(日)、11月18日(日)
<各日:午前11時、午後1時30分 各回約30分>
※11月4日午後の展示解説はミニ講座終了後
会場:茨城県立歴史館展示室(要入館券)
担当:学芸課長代理兼首席研究員 川又 清明

塩づくり実演とペンダントづくり

日時:平成24年10月20日(土) 午前9時45分から
会場:塩づくり実演見学/庭園 ペンダントづくり/茨城県立歴史館講堂
小学生以上 ただし3年生以下は保護者同伴(要入館券)
定員:30名 ※事前申込み締切10月10日(水)

紙芝居と発掘DVD(塩づくリムラの物語)上映

日時:平成24年11月11日(日) 午前10時30分・午後1時30分
会場:茨城県立歴史館講堂 紙芝居協力:東海村民話再生の会

交通のご案内

◎茨城交通バス(水戸駅北口4番のりば)「桜川西団地」行「歴史館・借楽園」入口下車
◎常磐自動車道水戸インターから約7km、車で15分。

